

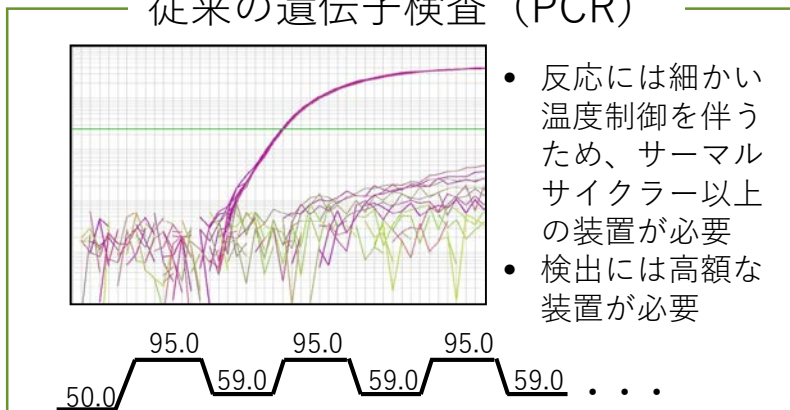
核酸クロマトによる簡易迅速GM検知

— 高額機器を使用せずに判別可能な遺伝子検査 —

成果の特徴

- 検知対象となる安全性審査済み遺伝子組換え（GM）作物の種類は増え続けており、従来の方法では、その全てを検知することは困難になっています。
- LAMP法と核酸クロマト技術を組み合わせて簡易迅速な検査法を開発しました。

従来の遺伝子検査（PCR）



リアルタイムPCR
¥7,000,000～



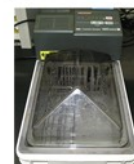
Genie II
¥1,770,000



サーマルサイクラー
¥500,000～



ヒートブロック
¥200,000～

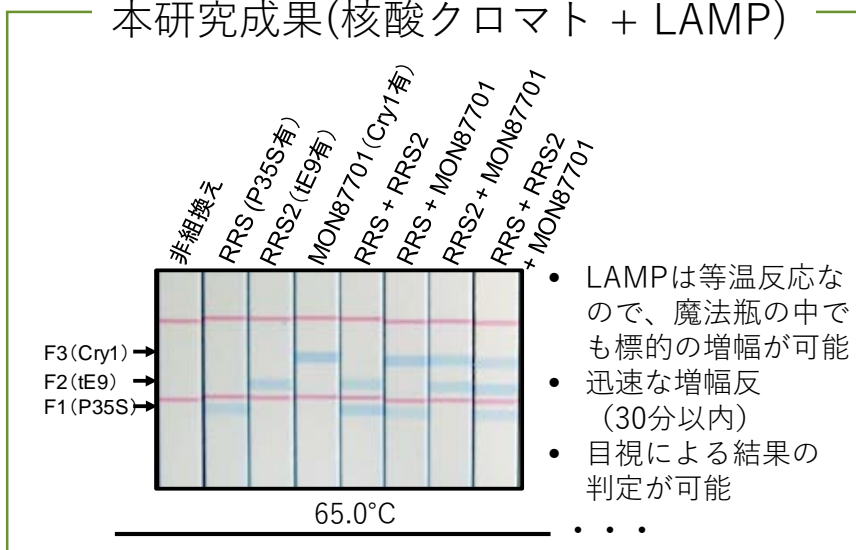


ウォーターバス or
インキュベーター
¥50,000～



魔法瓶
¥3,000～

本研究成果(核酸クロマト + LAMP)



成果の活用

これまで当ユニットで開発されたGM検知技術は公定検査法となり活用されてきました。本技術も、食品表示制度の信頼性を担保する検査法の一つとして活用されることが期待されます。

参考文献

- Takabatake *et al.*, Journal of Agricultural and Food Chemistry 2018, 66, 7839-7845.
- Takabatake *et al.*, Food Chemistry 2018, 252, 390-396.